



いつもながら、気魄あふれるばかりの三川指導部の掲示板。組合員の創意を結集する典型

ねばり強く闘い抜く
大牟田 共闘 ほとんどもがこれから

七六春闘の最大のヤマ場と呼ばれた全交通の闘争は、私鉄総連をはじめ国鉄労組、動力車労組の七十二時間ストライキ(二十一日～二十二日)をもって闘われた。闘争は周知のように私鉄総連が中労委、公労協が公労委のあっせんをもって事実上不足な形を終ったが、しかしな春闘は全交通のあつらひの産業の各職場で、ひきつづきねばり強く闘われている。

まず、ひきつづき闘われている。対して一万五千円の一次回答(昨 結果となった。のに大牟田の春闘がある。すでに 年妥結額一万八千七百六十円)を妥結したところもあるが、多くは ひきだしてゐる。

これからだ。 全九電労組は一万二千五百円(昨年一万七千円)で妥結したが、回答まだ。市職労組も三万円賃上げ要求にひきつづき闘っている。このほか、福岡県教組四万円、福岡県高教組三万円、県職労三万円、化学(三化、合化東庄、全東庄)はほとんども、何となくも組織の福岡県高教組三万円、県職労三万円、力がいよいよ不安を感じはじめた

それにして我々が一生懸命に汗を流して掘った石炭は、いつたいていなくなっている。会社は、「生産が上がるれば、働者の生活はよくなる」といって、百トン、日本の石炭の四〇パーセント、年産五百二十万トンも石炭を出している。

それでも会社は我々を苦しめるだけ、賃金は出さずとせません。貯炭があるときは「売れないから」といって、貯炭がない現在は「世界じゅうが不況だから」「政府から援助してもらっているから」

第一、働く者から人間性を奪いその命さえ危険にさらす請負給制度については、家族でも話し合いを深めよう。次に仕組工の人の賃金の一日分の違いを見てみます。基本給が千七百円で、B給(固定給)の場合、一日で四千二百九十四円(内わけは基本給一、七〇〇円+職種給九百五十円+能力給九百七十円+出来高給三、五〇〇円)となる。その差千九百五十四円。一日でこれだけ違う。

この違いを、職制はあつての手段にさえ使っているのです。ともあれ、十月の賃金闘争でいよいよにダウンしないために、毎日おとされたいです。三川三池炭鉱に働く仲間、そして家族すべてが終るまで春闘を闘い抜きましょう。

組合、30周年記念案内発送

組合の機関でも討議されたが、本紙前身でお伝えしたように、三池炭鉱はいよいよ全国の先輩やなかま、あるひとを心よくお迎えするため、いまから準備を急いで合結三十周年記念式典、へりなやちて行きましよう。

二十二日の中央委員会は、重大な情勢に直面した炭労の春闘について討議した。こんなときは炭労中から松橋副委員長と、山田九炭委員長も参加、親しく意見を交換し、深刻な情勢のなかで、そう団結して闘うことを意志統一した。

「炭労の現状は、資本の分断攻撃にある。赤字経営を口にするのは、賃上げ要求のおさがりである」といった共通の形がでてくる。これを乗りこえてこそ、炭労の前進もある。意見は多かった。

請負給制度

家族ぐるみで考えよう

現在四山鉱では、いくつかの職種をのぞいてほとんどが、請負給で賃金が支払われています。請負給では本来仕事をした本人が、その日の賃金を計算されるべきですが、単価はつきり知らされず、賃金計算は職制まかせで、何をしても職制の顔色をうかがわなければならない。

賃金は職制にまかされていますが、どうしても作業員同志の競争になります。そのことが不安についでもおそれなくなり、負傷者も出ます。負傷すれば、その根本原因となる請負給制度が問題にならなければならないのに、本人の責

任として追及され、「安全教育が不徹底だった」とで、保安部勤務とごうごうになります。だから会社が発する負傷者の数は、必然的に少くなるのです。

日曜出勤や残業も、本当はしたくないという声は出ています。本当にそうでしょうか。

自分で計算できない賃金。職制から、「とかいって」「賃金は出せない」といっている。からは「まじめにやらんと固定給でついでなぞ」「ごときな賃金。計算してもおつ賃金。請負賃金を考え直し、おとされ汗水の量に見合う賃金をとる権利が、我々にはあるはず。一部には政府に、石炭政策で陳い抜きましょう。

三池の労働者を、かくも不幸にしているのは何か

三里連協の新聞「連協だより」から
(四月二十三日発行)は、「平和協定を吹き飛ばし、生活実態を反映した賃金を」の見出しで、三池の全労働者・家族ぐるみの春闘を進めよう、と訴えた。この記事は単に賃上げの必要性についてだけでなく、三池炭鉱労働者の不幸な生活、非人間的な生活の根拠がどこにあるか、という点にまで掘り下げられている点が注目すべきものとなっている。この際改めて考えて見るために、その全文(一部加筆)を紹介することとした。大いに話し合おう。

これに我々が一生懸命に汗を流して掘った石炭は、いつたいていなくなっている。会社は、「生産が上がるれば、働者の生活はよくなる」といって、百トン、日本の石炭の四〇パーセント、年産五百二十万トンも石炭を出している。

それでも会社は我々を苦しめるだけ、賃金は出さずとせません。貯炭があるときは「売れないから」といって、貯炭がない現在は「世界じゅうが不況だから」「政府から援助してもらっているから」

第一、働く者から人間性を奪いその命さえ危険にさらす請負給制度については、家族でも話し合いを深めよう。次に仕組工の人の賃金の一日分の違いを見てみます。基本給が千七百円で、B給(固定給)の場合、一日で四千二百九十四円(内わけは基本給一、七〇〇円+職種給九百五十円+能力給九百七十円+出来高給三、五〇〇円)となる。その差千九百五十四円。一日でこれだけ違う。

この違いを、職制はあつての手段にさえ使っているのです。ともあれ、十月の賃金闘争でいよいよにダウンしないために、毎日おとされたいです。三川三池炭鉱に働く仲間、そして家族すべてが終るまで春闘を闘い抜きましょう。

低い全国賃上げ状況
つきつけている支配層のねらい

炭労本部から届いた七六国民春闘情報(四月十五日発行)	二、〇〇〇円
食品労連	二、〇〇〇円
国民春闘情報(四月十五日発行)	二、一六〇円
合化労連	二、二〇〇円
金港湾	二、〇〇〇円
全自交	三、五〇〇円
運輸労連	二、〇〇〇円
農協労連	二、〇〇〇円
農協	二、五〇〇円
出版労連	二、七四〇円
繊維労連	一、四八五円
全園金属	二、〇〇〇円
出版労連	二、七四〇円
繊維労連	一、四八五円
全園金属	二、〇〇〇円



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 3033番
3034番
編集兼発行人 山下 開
半年間1,000円 送料共

万歳!
第47回メーデー

これに我々が一生懸命に汗を流して掘った石炭は、いつたいていなくなっている。会社は、「生産が上がるれば、働者の生活はよくなる」といって、百トン、日本の石炭の四〇パーセント、年産五百二十万トンも石炭を出している。

それでも会社は我々を苦しめるだけ、賃金は出さずとせません。貯炭があるときは「売れないから」といって、貯炭がない現在は「世界じゅうが不況だから」「政府から援助してもらっているから」

第一、働く者から人間性を奪いその命さえ危険にさらす請負給制度については、家族でも話し合いを深めよう。次に仕組工の人の賃金の一日分の違いを見てみます。基本給が千七百円で、B給(固定給)の場合、一日で四千二百九十四円(内わけは基本給一、七〇〇円+職種給九百五十円+能力給九百七十円+出来高給三、五〇〇円)となる。その差千九百五十四円。一日でこれだけ違う。

この違いを、職制はあつての手段にさえ使っているのです。ともあれ、十月の賃金闘争でいよいよにダウンしないために、毎日おとされたいです。三川三池炭鉱に働く仲間、そして家族すべてが終るまで春闘を闘い抜きましょう。

赤字口実ハネ返せ
中央委、春闘で討議

二十二日の中央委員会は、重大な情勢に直面した炭労の春闘について討議した。こんなときは炭労中から松橋副委員長と、山田九炭委員長も参加、親しく意見を交換し、深刻な情勢のなかで、そう団結して闘うことを意志統一した。

「炭労の現状は、資本の分断攻撃にある。赤字経営を口にするのは、賃上げ要求のおさがりである」といった共通の形がでてくる。これを乗りこえてこそ、炭労の前進もある。意見は多かった。